

テーマ 成果をあげる秘訣と行動革新 ～社員のモチベーションを高めるために～

目的 モチベーションを高めるためには組織的体系的な取り組みが重要であることを理解する

対象 経営者、経営幹部、部門長、経営企画責任者

案内 社員が生き活きと活躍することが、業績アップの必要条件であることは、広く認識されている通りである。一方、どれだけの企業の社員が、生き活きと活躍してるだろうか。

そこには、我々の認識と実際の取組や制度との間に、大きなギャップがあるのです。

社員はどのようなときに動機付けられるのか、動機付けのメカニズムを理解すると共に、動機付けの源泉は、経営者の夢・ビジョンにあることを理解しなければなりません。

その上で、社員のモチベーションアップに向けた、組織的体系的な取組や制度の構築が必要となるのです。

本セミナーでは、経営者の夢・経営ビジョンを社員のモチベーションアップに結び付け、卓越した業績を実現する考え方・取組について、事例を交えて話をします

期間・時間 2時間

講師 イーエムイーコンサルタンツ株式会社 代表取締役 小野 知己

費用

内容

カリキュラム	概要
I 社員はどのようなときにやる気になるのか 1 モチベーションとは何か 2 社員の欲求と動機付け	○ 社員はどのようなときに動機付けられるのか ○ 動機付けのメカニズムを学ぶ
II モチベーションを高める仕組みをつくる 1 正しい目標設定 2 現状を正しく認識する 3 経営理念・経営ビジョンとモチベーションの関係	○ モチベーションは、「あるべき姿」と「現状の姿」とのギャップを認識することによって起こる ○ 「あるべき姿」を示すのは、経営者の夢であり、経営ビジョンである
III 成果に結びつける人財マネジメントの考え方 1 多様な人財を認識する 2 組織変革とコンピテンシー 3 人財マネジメントにおける評価 4 モチベーションを高めるために	○ 「あるべき姿」を実現するために、どのような能力を発揮する人財が必要かを明確にする ○ 自立した人財を育成することが、成果に結びつく人財育成のポイントである ○ 面接は社員からのプレゼンテーションの場となる
IV 組織的体系的な取り組みを実践する 1 経営ビジョンの展開 2 自立した人財を育成する 3 変革の組織風土を醸成する	○ 組織的体系的な取組は、左記の3つの視点から行なう ○ 安心の場を提供することが価値創造に結びつく